

2019.6.20

# 施工仕様書

二液・水性アクリルウレタン樹脂系クリアーコーティング剤 オプティマスC3（ローラー施工版）  
防滑工法



株式会社オプティマス

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜2-1-14 3F

Tel. 06-6203-1121 Fax. 06-6203-1141

**〈 コンクリート用 〉 オプティマスC3**

適応素地 コンクリート/モルタル						
	基材	工程	製品	ローラー		塗装間隔 (20℃)
				塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	希釈 (%)	
新 築	コンクリート モルタル	下塗り	オプティマス C3プライマー	0.08~0.16	0	2時間程度
		上塗り (1回目)	オプティマスC3 (主剤：硬化剤 =4：1)	0.15	0	2時間程度
		防滑層	オプティマスC3 防滑用骨材	0.05	-	上塗り一回目 塗布直後散布
		上塗り (2回目)	オプティマスC3 (主剤：硬化剤 =4：1)	0.15	0	2時間程度
適応素地 各種塗装面						
	基材	工程	製品	ローラー		塗装間隔 (20℃)
				塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	希釈 (%)	
新 築	各種塗装面	下塗り	オプティマス CMSプライマー	0.08~0.1	0	2時間程度
		上塗り (1回目)	オプティマスC3 (主剤：硬化剤 =4：1)	0.15	0	2時間程度
		防滑層	オプティマスC3 防滑用骨材	0.05	-	上塗り一回目 塗布直後散布
		上塗り (2回目)	オプティマスC3 (主剤：硬化剤 =4：1)	0.15	0	2時間程度
下地処理	<p>■コンクリート打設後、4週間以上経過していることを確認し、含水率を点検してください。</p> <p>■下地目荒らしのサンディング処理は必ず行い、素地に付着しているゴミやレイタンス、油等も除去してください。</p>					

施工上の注意
<p>■乾燥養生期間は・コンクリート：夏期三週間以上、冬期一ヶ月以上・モルタル：夏期二週間以上、冬期一ヶ月以上取って下さい。含水率5%以下、pH9.5以下になってから塗装して下さい。■塗装する面のゴミ、レイタンス、エフロレッセンス、カビ、コケ、油分などの汚れや剥離しかけの塗膜は除去し、清潔な面にしてください。■外気温や躯体温度が5℃以下の場合や、湿度が85%以上の時は施工を避けてください。塗膜性能が発揮されないケースや、接着不良の原因となります。■塗膜が完全に乾燥する前に結露が発生しますと、白化やシミの原因となります。風通しを良くして施工してください。■各工程の標準塗布量や塗装間隔が守られていない場合、塗膜の性能を発揮できないことがあります。また、当社以外の材料を組み合わせられますと、接着不良等の不具合現象並びに塗膜性能が発揮できないことがあります。■塗装時及び塗装後は換気を良くしてください。密閉した場所で施工しますと乾燥が遅くなります。また、結露が発生し接着不良や白化、シミの原因となります。■改修塗装の場合は素地塗膜との接着を前もって確認してください。■オプティマスC3 主剤は、使用前に十分攪拌してください。■プライマー塗装後、塗装間隔よりも短いと、上塗りの縮みやクラック等の不具合現象が起こりますので、塗装間隔は厳守してください。■プライマー類や上塗り塗料には防錆性能がありませんので、素地が金属で錆びている箇所はケレンし、防錆プライマーを塗布後、オプティマスC3を塗装してください。■付着性の悪い素地については塗装を避けてください。(PE、PP等)■塗膜乾燥後に汚れが付いた場合は、シンナー等では拭かず中性洗剤で洗浄してください。■ローラーや刷毛等の施工具は水性用を使用してください。■施工後の養生期間は、24時間以上行ってください。</p> <p>《保管上の注意》■子どもの手の届かないところに保管し、誤飲・誤食しないように十分注意してください。■塗料は蓋をし、直射日光の当たる環境や0℃以下の環境を避けて保管してください。</p> <p>《応急処置》■目に入った場合は直ちに大量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。■皮膚に付着した場合は多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは皮膚に異常がある時は必ず医師の診断を受けてください。■誤って飲み込んだときは無理に吐き出そうとせず、すぐに医師の診断を受けてください。施工中に気分が悪くなった時は作業を中断し、空気の清浄な場所で安静にしてください。</p>

## 施 工 工 程

### ローラー

1	下地処理	改修等の塗り替え時には、旧塗膜の剥離部分、フクレ部分を完全に撤去する。又、ゴミ、レイタンス、油分が付着している場合も完全に除去して下さい。（C3塗膜の剥離の原因になります。）。クラック部分についてはクラック処理を行って下さい。
2	清 掃	下地に埃やゴミが付着していると、接着力が確保されず塗膜の剥離やフクレなどの不具合が生じますので、清掃は必ず行って下さい。
3	プライマー塗布	プライマーに関しましては、下地の種類毎にプライマーを用意しております。プライマーの吸い込みの激しい場合は再度プライマーを塗布して下さい。
4	混合攪拌	主剤・硬化剤は配合通り（主剤：硬化剤＝4：1）に計量した後、混合し電動攪拌機にて1～2分間必ず攪拌して下さい。（攪拌不良の場合硬化不良の原因になります。）
5	塗装方法	塗装方法に関しましては一定方向に塗布するだけでなく、縦、横を必ず通して下さい。又、塗布量に関しましては標準塗布量を厳守願います。